

公文書監理室

※ 総第

※ 平成

年時

月分

日
秒受付

電 信 案

大 臣 秘書官 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 房 長	主管 北 アジア局長 審 議 官 参 事 官 北東アジア課長 地域調整官 首席事務官	※発電係 1 2
		起 案 平成 2 年 10 月 13 日 起案者 電話番号 正本(丸屋受) 2414
協議先 柳 山 伊 〇 16		

（注意）1枚目は、機械で処理しますので、折り曲げない様願います。

[illegible]

(※白樺内は電信課記入)

「附利」ノニ・「ノ」ニ「ハ」ニ「ハ」

往電ア北第

号に関し、

冒頭往電のやりとりに引続き、朴（パク）書記官より、盧泰愚（ノ・テウ）訪日のフォロー・アップに関し、次の通り述べた。（カッコ内は山本首席の応答）

1. 李方子（イ・パンジャ）女史遺品—今次臨時国会で条約をあげ、年内に引渡しが出来よう手続を急いで欲しい。（臨時国会であげることは物理的に無理。通常国会であげられるよう努力してやる。いずれにせよ出来るだけ早い時期に引渡しが出来よう努力したい。）
2. 三世問題—10月26日東京にて局長級の会議を開きたい。（その方向で検討してみたい。）
3. 在韓被爆者問題—三年度予算では総額40億円のうち17億円を要求していると承知しているが、次年度では残り23億円を一括計上して欲しい。又、~~三~~^四年度より計上していただいて、4,200万円の拠出金も引続き毎年拠出して欲しい。（自分としては次年度で残り23億円程度を計上したい気持であるが、大蔵省は予算単年度主義の観点から毎年~~支出~~^{支出}するので、そのようにいくかどうか保証出来ない。4,200万円については今伺って驚きを禁じえない。盧泰愚大統領訪日の際、毎年4,200万円ずつ出すのではなく、ここで本問題に終止符を打つべく一括してまとまった金を出して欲しいと云われたのは韓国側であり、それに応じて当方は総額40億円程度をコミットした訳である。よって本件は右40億円程度ですべて決定したのであり、それとは別に毎年4,200万円ずつ出していくことはありえない。被爆者協会がそんなことを言っているのかも知れないが、そこには外務部が責任をもって押さえて頂かないと困る。）
4. 閣僚会議—11月26、27日ソウルで開催ということでは変りないか。（国会との関係もあり、正式にその日程を提示したものではないが、事務的には26、27日のラインで準備をして頂いて結構である。）
5. 朝鮮人徴用者名簿—先般の調査で終了したとするのではなく、引続き誠意を持って新たな名簿を探す努力をして欲しい。（先般出来るだけの努力をして調査結果をまとめたところであり、政府としては調査をこれで終了したとの立場である。ただし、今後新たな名簿、情報が出てくれば、その時に何が出来るか検討してみたい。）

(1)